

Rotary International
2009~2010



ロータリーの未来は
あなたの手に

中村ロータリークラブ

週報(2009~2010)

会 長/佐 竹 義 典	創 立/昭 和 3 8 年 1 0 月 2 日
幹 事/荒 井 淨	例会日/水 曜 日 1 2 : 3 0 ~ 1 3 : 3 0
会報委員長/黒 石 伸 二	例会場/新ロイヤルホテル四万十 事務所/四万十市中村小姓町46番地 中村商会館2F
	TEL(0880)35-4551 FAX(0880)35-4553
	●ホームページ http://www.nakamura-rc.com/

週報 No.2141

第2272回 平成21年10月20日(晴れ)

本日のプログラム：米山奨学生スピーチ(宿毛・四万十RC3クラブ合同)

10月28日のプログラム：会員スピーチ島井・佐竹会員

11月4日のプログラム：野球四国予選大会の報告

●宿毛・四万十RCとの3クラブ合同例会

米山奨学生の張希(ジャンシー)さんを迎えて

宿毛、四万十RCとの合同例会が20日、米山奨学生の張希(ジャンシー)さん=26歳、中国出身、高知工科大博士課程2年生=と、世話クラブの高知西RCカウンセラー、小野山敬一会員をゲストに新ロイヤルホテル四万十で開かれ、親睦を深めた。例会後、中村RC主催でゲスト2人を「屋形船での四万十川下り」、夜はビアハウス四万十川で「夕食会」を開き、歓談した。また、21日は、大杉幹夫・米山委員長が2人を足摺観光に案内した。

◆門田四万十RC会長のあいさつ

年に一度の3クラブ合同例会へのご出席ありがとうございます。本日は会場変更のため、中村RCさまにはご苦勞をかけた。お礼申し上げます。

米山奨学生に選ばれた外国人留学生は優秀な学生ばかりです。卒業後は米山学友として、ロータリーの理想とする日中友好と親善に寄与してくれると期待しています。



● 本日のプログラム

米山奨学生 張希(ジャンシー)さん 高知工科大博士課程(物質・環境システム工学コース)
中国寧夏回族自治区出身



「私の故郷と私の日本での研究」

今年4月、米山奨学生になりました。今日、中村に来ることができ、皆さんとお会いできてとてもうれしく思います(以下、スライドを使って説明)。私は2007年9月に日本に来ました。中国の寧夏回族自治区で1982年に生まれました。近くには黄河やゴビ砂漠、万里の長城もあります。

寧夏は辺ぴな所で、北京から列車で19時間、飛行機でも2時間かかります。首府は銀川市。人口は138万人で、面積は9555平方キロメートルで、中国では小さい町。高知より寒くて、冬には雪が降ります。

有名なものが5つあります。素材の色にちなみ、それぞれ「赤、黒、黄、青、白い宝」と呼ばれています。赤い宝は植物のクコ。クコの実でつくるお酒が有名

です。私の古里の人は、お酒が大好きで、とても強い。高知の皆さんと一緒にです。黒い宝はファーツアイ。髪のような藻の一種です。発音は「金持ちになる」という意味があります。

黄色の宝はカンゾウ。甘草と書き、中国では、せき止めなど薬の材料になります。青い宝は賀蘭玉(ガランタマ)です。これは賀蘭山から取れる特別な石で、硯や印章が作られています。

最後の白い宝は羊毛です。この羊毛は雪のように白く、柔らかいです。

有名な建物も2つあります。一つは南関清真大寺で、巨大な回教のモスク。もう一つは西夏王陵(せいかおうりょう)です。西夏は昔の王朝で王の墓です。





ところで、私はバイオテクノロジーを勉強しています。榎本先生の研究室に所属し、主に抗ガン活性を持つ青色色素合成酵素遺伝子について研究しています。室戸海洋深層水に含まれる新しい細菌から、抗ガン作用を示す青紫色素を分離することに挑んでいます。色素の合成には5つの酵素が必要で、この酵素の遺伝子は、DNAのある場所に固まって存在することが分かっており、この色素が合成される経路の解明に取り組んでいます。これが解明できれば、色素を作る遺伝子を大腸菌の中で増殖させ、今後、工業生産などに役立てられます。来年9月に卒業予定で、今は論文を仕上げるために、資料整理や実験、データ集めをして頑張っています。

◆◆日本と中国の生活の違い◆◆

中国と日本の生活で気付いた違いについて話します。

最初はゴミの収集。日本では、燃えるゴミなど種類によって分別し、スタッフが掃除までしている。中国はただ捨てるだけなので、日本は（地域が）いつもきれいだと感心しました。

2点目は料理。例えば、中国のマーボ豆腐は辛いですが、日本は甘い。日本人は全般的に甘い味が好きな気がします。私は普通におかゆを食べますが、日本人は病気の時にしか食べない。時々、友達に「病気なの？」って聞かれます。服装では、若い人がスカートの丈を短く切って、パンツを下にはいているが、あれは理解しがたい。中国の男性は緑の帽子をかぶらない。それは「妻を寝取られた」ことを意味するから。日本の若いカップルはシャイなのですか？

中国の恋人同士はどこでもいつも手をつないでいる。ハグをしたり、人前でキスをしている人もいます。食や生活習慣の違いは面白いですね。

本日はありがとうございました。

今後ともよろしく願います。



小野山敬一会員（高知西RC）



カウンセラーと地区の米山を担当しています。本日は（2670地区米山記念奨学委員会の）内田信次委員長の意向をくみ、2つの立場から現状を話します。

2008年度は米山奨学金を約800人が受けてきました。事業費は14億円で、これまでに116カ国、1万5000人余りを支援してきました。1959年に世話クラブが、1971年にカウンセラー制度ができました。高知西RCでは、張希を含め4人を世話してきました。毎月初めの例会では奨学金を手渡しして、互いの信頼関係の醸成に生かしています。

米山奨学金には、普通寄付と特別寄付があります。宿毛、中村、四万十のクラブの皆さんには会員1人当たり年間4000円の寄付をいただいています。寄付によって奨学生の数が決まります。内田委員長から「年間1000円くらい増額をお願いしてこい」と言われましたが、今の厳しい経済状況では、500円の増額をいただければ、私がここに来た甲斐があるかなと思っています。

また、米山功労者を作ろうと準備しています。合わせてよろしくお願いします。

■佐竹中村RC会長の謝辞

張希さん、小野山さん、本日は貴重な映像と卓話ありがとうございました。2009年の3月、中国学友会が設立されています。張希さんも、帰国されましたら、是非入会して、高知のロータリアンの友好を忘れることなく、日中友好のためご尽力下さい。本日は誠にありがとうございました。

■山本宿毛RC会長の謝辞

張希さんはバイオテクノロジーという難しい研究をされているようですが、私は分かりませんでした。日中友好の懸け橋としてますますの活躍をご祈念いたします。



張希さんへ各RCバナー贈呈。



THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS

私たち一人ひとは、いわば過去を未来へとつなぐ鎖の輪のような存在で、大いなるロータリーという伝統の一部を成しているとなることができるのです。

2009-10年度国際ロータリー会長 ジョン・ケニー